

災害時も、



摂食嚥下を守る

第35回 日本嚥下障害臨床研究会

日程：2024年7月20(土)・21日(日)

ハイブリッド開催

会場：道後温泉 にぎたつ会館(愛媛県松山市道後姫塚118-2)

大会長：田中加緒里(愛媛大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学)

4月30日まで延長決定!

演題募集期間：2024年2月13日～~~4月10日~~

【研究会事務局】

日本嚥下障害臨床研究会 事務局
〒734-8530 広島県広島市南区宇品神田1-5-54
県立広島病院小児感覚器科内
E-Mail：shomu@engeken.com

研究会HP



<http://engeken.com/35/index.html>

参加登録



開催概要

- 2024年7月20日(土)～21日(日) 現地会場+Zoomライブでのハイブリッド開催
- 本研究会参加証は、JSDR認定士資格更新の証明書類となります(10単位)
- 事前参加登録：会員2,100円／非会員5800円
事前参加登録期間 2024年2月13日(火)～6月30日(日)締切
※2024年7月7日までにお振込みください。
- 当日参加登録：会員3,000円／非会員6,000円
※当日参加登録は現地参加できる方に限ります。

特別企画

「災害時も、摂食嚥下を守る」

災害時における嚥下障害や栄養不良は重大な問題です。年始に発生した能登半島大地震では、特に障害者を対象とした1.5次避難所において多職種によるミールラウンドが始まりました。本企画では、災害時における嚥下障害や栄養管理の現状や課題、多職種それぞれの立場の役割や課題を共有し、今後の対策について議論します。災害時の摂食・嚥下管理は、常に意識し備えておくべき重要な課題です。皆様のご参加をお待ちしております。

演題登録



演題募集

一般演題

臨床現場では、教科書通りではない経過を辿ることは決して珍しくありません。診断に苦慮したり、治療に難渋した症例の経過、日頃の嚥下診療における工夫や新たな発見などの症例報告、研究発表など、ご自身の経験や知見を、ぜひご発表ください。

症例相談

現在進行形で悩んでいることや、他に良い方法がないか相談したい症例についても、お気軽に症例提示をいただきたいと思います。多職種のエキスパートや参加者とともに、さまざまな視点からの意見を交えながら、共に問題解決の糸口を見つけましょう。

津田先生に 捧げる群

昨年ご逝去された津田豪太先生は、昨年の本研究会大会長であり、本邦における嚥下障害診療の発展に大きく貢献されました。津田先生が、発表や意見交換の場で遺された嚥下障害の診断や手術の技など、皆様に引き継ぎ、伝えていくことができればと思います。

4月30日まで延長決定!

演題募集期間：2024年2月13日～~~4月10日~~